富士宮地区

HPアドレス：www.fujinomiya-rofuku.net/

富士宮地区労福協　検索

労福協たより

2023年 12 月

第30号
発行責任者
飯室　憲一

第５８回定期総会を開催しました！

2023 年 7 月 11 日（火）、富士宮市民文化会館小ホールにて**第 58 回富士宮地区労福協総会**を開催し、労福協会員の代議員など**総勢 42 名の皆様**にご参加いただきました。新型コロナウイルス感染症が「５類感染症」に変更となり開催方法は従前に近い形での開催となりました。

冒頭、飯室会長より、労福協が行っている社会貢献活動に触れ、まだまだ活動の詳細が広く知られていないのが現状であり、労福協がより身近な存在と感じてもらえるよう、働く仲間の目線に立った活動を継続して展開し周知していく旨を伝え、働く仲間１人１人が主役であり、各種活動に対して積極的に参画いただくよう呼びかけました。

また、ご多忙中にもかかわらず来賓として臨席いただいた**県労福協鈴木専務理事、須藤富士宮市長、富士宮市勤労者共済会（ハピネスふじやま）河原﨑会長**から、それぞれ勤労者福祉の向上の重要性と連携と協力によりその輪をより多くの勤労者に届けていけるよう挨拶をいただきました。

議事については、５つの議案を浦本事務局長中心に提案し、全て満場一致の拍手で承認いただき、第６号議案として、メインスローガンである「すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくろう！！」の他、３つのサブスローガンを提案・採択して終了しました。

労福協･退福共合同グラウンドゴルフ大会

労福協・退福共合同グラウンドゴルフ大会が１０月７日（土）沼久保地区水辺の楽校で４年ぶりに開催されました。天気にも恵まれ多くの方にご参加いただきました。労福協からは**６チーム（３５名）**が参加しました。退福共の方に同行いただき、スコアーのつけ方や細かなルールについて、レクチャーいただきました。ゲームをやりながら退福共会員の方に打ち方や方向などご指導いただき交流も深まりました。秋晴の中、労福協会員の皆さんは４年ぶりにスティックを握り悪戦苦闘していましたが、老若男女多くの方が一同にスポーツができるグラウンドゴルフの素晴らしさを改めて実感できました。来年はもっと多くの方にご参加いただきたいと思います。

野球観戦バスツアー

2023 年 9 月 9 日（土）に皆さんに人気の企画**「野球観戦バスツアー」**を４年ぶりに開催しました。今回は東京ドームでの巨人対中日戦を観戦しました。久しぶりの開催ということもあり、お問合せの電話も多く、定員 120 名のところ 155 名のお申込みをいただき、参加者は抽選とさせていただきました。当日は体調不良により残念ながら参加できないグループもあり、111 名の参加となりました。肝心の試合結果ですが、巨人ファンには大変喜ばしい、５対０とジャイアンツの勝利となりました。野球観戦ツアーではご家族や友人の皆さんと楽しい時間を過ごしていただくよう、バス内では賞品付きクイズ大会も実施しました。野球観戦ツアーは人気のイベントですので、抽選となってしまいますが、ドームならではの活気や雰囲気が味わえますので経験の無い方はぜひ、お申込みください。

親子で楽しむ里山の恵み満喫ツアー

2023 年 11 月 12 日(日)に、毎年好評の里山の恵み企画として、**「親子で体験！薪割り・火起こし＆ピザ作り体験♪」**を開催しました。今回の参加者は 9 家族 29 名と、コロナウイルスが５類に移行されたこともあってか、昨年より参加者が大幅に増加しました。当日は心配された雨も降り出すことなく、ホールアースのみなさんに支援をいただきながら、親子で薪割りや火起こし、ピザ作りを楽しみました。

薪は親子が協力して丸太を半分に割り、さらに半分と薪にちょうど良い大きさになるまで割り、火起こしでは大人も子どもも夢中でした。火のついた薪を回収してピザ窯に運び、いよいよピザ作り。火の通りにくいジャガイモとカボチャはいったん蒸します。ピザ生地にソースをぬり、具材を並べたら、いざピザ窯へ。焼き上がるまで約１分、美味しいピザの出来上がり。自然の中、薪割りから火起こし、ピザ作りまで親子で協力しながら楽しむことができました。

第 13 回森づくり活動を行いました！

第 13 回森づくり活動を 2023 年 5 月 27 日（土）に実施し、労福協役員を中心に 23 名が参加しました。この森づくり活動ですが、2013 年 10 月 5 日より開始し、**今年で記念すべき 10 周年**となりました。回数としては、2014 年と 2015 年は年２回実施しているため、今回で 13 回目となります。

この活動を立ち上げた方々にもご参加いただき、開会式では立ち上げた経緯や活動の趣旨についてご説明いただきました。当時、労福協でアンケートを実施し、これまでの取組みを検証しながら議論を重ね、これからの富士宮地区の未来に目を向けた、地域に根差した社会貢献活動として、この活動が始まったことを学びました。

さて、活動については今回もはじめて参加するメンバーが多く、また女性にも３名参加いただきました。協力団体であるホールアースからは３名の指導員を派遣いただき、怪我や事故を防止するために、絶えずご指導をいただきながら間伐作業を進めました。

生育状態の悪い木を選んだら、まずは手順を全員で確認。上、足元、周囲、伐倒方向などの安全を順に指差し点検した上で、木を倒す方向に受け口を三角に伐り出すことから作業を開始します。細心の注意を払いながら、手持ちのノコギリで人力で作業を進めます。木を倒す際にはロープで引っ張るのですが、他の木に引っかかり、なかなか倒れず苦労しました。倒した木を運ぶのも人力ですので、傾斜した森の中では足場が悪く、一瞬ヒヤリとする場面もありましたが、無事ケガもなく作業を終了することができました。

この活動を立ち上げた当時の想いを大切に受け継ぎながら、新しいアイデアを加え、更に充実した活動に発展させていきたいと思います。森づくりの場所は、田貫湖畔から小田貫湿原（長者ヶ岳）へとつながる山道沿いで、入口にある「ろうきん森の学校」の看板が目印になっていますので、近くをお立ち寄りの際はぜひご覧ください。